

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

3. 対策

以下のいずれかに該当する場合は、ソフトウェアでの対策は必要ありません。

DMA 要因選択レジスタへの書き込みは全 DMA(DMA0 ~ DMA3)が禁止の状態で行っている

DMA 要因選択レジスタの書き込みを行う際には、許可されている全てのDMA 要求は発生しない

上記、に該当しない場合は、のいずれかの対策をおこなってください。

DMA 要求ビットをクリアする目的で DMA 要因選択レジスタに書き込みを行っている場合は、DMA 要求ビットをクリアする命令を削除してください。

M16C/80では、DMA 要求が発生した場合、そのチャンネルがDMAを受付られない状態(DMA 禁止状態、転送カウントレジスタが"0"の状態)であればDMA 転送は実行せず、そのDMA 要求ビットは自動的にクリアされます。したがってDMA 要求ビットをソフトウェアでクリアする必要はありません。

DMA 要因を変更する目的で DMA 要因選択レジスタに書き込みを行う場合は、DMA 要求ビットに同時に"1"を書き込んでください。ただし、該当するDMAチャンネルは禁止状態で行ってください。

例：DMA0 を単転送で使用し、要因をタイマ A0 に変更する場合

```

push.w  R0                ;R0 レジスタ退避
stc     DMD0,R0           ;DMA モードレジスタ 0 読み出し
and.b   #11111100b,R0L    ;DMA0 転送モード選択ビット "00" クリア
ldc     R0,DMD0           ;DMA0 禁止
mov.b   #10000011b,DM0SL  ;タイマ A0 選択(DMA 要求ビット =1 同時書き込み)
mov.b   R0L,R0L           ;ダミーサイクル
or.b    #00000001b,R0L    ;DMA0 単転送設定
ldc     R0,DMD0           ;DMA0 許可
pop.w   R0                ;R0 レジスタ復帰

```